

低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 令和5年度土地改良技術事務所庁舎内装補修工事
 調査の対象となった業者名 : 株式会社千葉工務店

調 査 項 目	内 容
(ア) その価格により入札をした理由	各専門業者からの見積、聞き取り及び類似物件の業者からの見積を参照、並びに下請業者との長年の協力的な関係により工事の円滑な進行と工事品質の確保が可能と判断したため。 宮城県公共建築工事共通費積算基準の率を参考にして現場管理費、一般管理費及び共通仮設費を算出し適切な金額を計上しているため当該価格での施工が可能と判断したため。
(イ) 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない）
(ロ) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない）
(エ) 契約対象工事箇所を入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない）
(オ) 手持資材の状況	床養生板を400枚保有しており、本工事で120枚使用予定であり、工事費の縮減に寄与する。
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	業者からの見積及び通販サイト価格を徴収し計上している。各業者との取引実績は3年から5年である。
(キ) 手持機械数の状況	内装補修工事で使用する集塵機等の機械を保有し、リース料の縮減に寄与する。
(ク) 労務者の具体的供給見通し	下請業者に材工共での発注・施工となる。各業者の材工共の見積を積み上げ、直接工事費に計上。労務者は、各専門工事別、職種別に配置し、履行に必要な労務者総員数として94人を計画している。
(ケ) 経営内容	東日本建設業保証株式会社宮城支店に確認したところ、当該入札者については、特段、風評等に問題無く通常の扱いで手続している旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出地	建設副産物（アスベスト含有Pタイル、木くず、廃プラ）は運搬及び処理受入れ会社を計画し、処理費用は直接工事費に計上しており、適切に運搬・処分する計画である。
上記(ア)～(コ)までの事情聴取した結果についての調査検討	入札者は、各業者より材工共の見積徴集及び聞き取り等を実施して直接工事費を積み上げており、施工可能な金額を計上していると認められる。 共通仮設費、現場管理費、一般管理費は宮城県公共建築工事共通費積算基準の率を参考に算出し適切に計上していると認められる。 現場管理費は、自社の配置予定技術者の給与 手当等及び協力会社の人件費等、一般管理費は、会社の必要額を計上していることを確認した。 以上から、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していることからの的確な施工、現場の安全管理、下請けへの支払い、必要な保険等の加入が行われ、工事を完成できると認められる。